



能古校区夏まつり

七月二十八日(土)に毎年恒例の能古校区夏祭りが行われました。今年も能古校区体育振興会との共催で開催されました。今年は、連日記録的猛暑が続き、熱中症等の体調不良が心配されました。今年は気候や体調を考慮し、館内に残留する利用者さんも数名いらっしゃいました。残留された方々にも夏祭り気分を味わっていただけよう、たこ焼きやアメリカンドッグなどを施設へ持ち帰り、他の利用者さんと一緒においしくいただきました。

会場では、ステージ上で子供たちによる能古太鼓披露やどんとうばいのバンド演奏などが行われました。他にも盆踊りやヨーヨー釣りなどに参加し、利用者さんの楽しそうな表情が見られました。他施設販売のコーナーでは、ひまわり園、ひまわりパーク上牟田、ひまわりパーク六本松のパンやクッキー、雑貨などが並びました。

最後は、夏の風物詩「打ち上げ花火」です。今年も花火が打ち上がることに歓声が上がりました。見終わった後は「綺麗だった。」とたくさんの声を聞くことができました。

年々と暑さが増して熱中症等が心配される中、体調を崩すことなく、参加することができて良かったと思います。今後ともっと慎重に熱中症対策について考えていかなければなりません。

最後に、参加して頂いた地域の皆様、保護者の皆様、協力・協賛して頂いた皆様、ありがとうございました。

清水 真子

地域交流会

六月二日(土)に地域交流会が行われました。地域交流会は福岡ひまわりの里の事を地域の皆様に知って頂ける貴重な機会です。今年は晴天に恵まれましたが、気温が高く、熱中症にならないように気を付けながらの開催となりました。

飲食バザーやひまわり園、ひまわりパーク上牟田、ひまわりパーク六本松による販売やゲームコーナーは地域の皆さんや利用者さん、遠方から駆けつけてくださったお客様で賑わいました。

ステージイベントでは能古のへいへい節保存会の皆様の踊りにあわせて一緒に踊ったり、カラフルパレットの皆様のライブ演奏に飛び入り参加したりと、利用者の方皆さんとても楽しんでいました。利用者の方皆さんによる、福岡ひまわりの里の紹介では緊張しながらもパネルを使用し、普段の生活や取り組んでいることを発表しました。福岡ひまわりの里のサンフラワーリングガイズによるハンドベル演奏では、日頃の練習の成果を精一杯発揮できたようでした。たくさんの方々に会場いただき、大盛況のうちに終わることができました。

最後に、ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

小林 健人

